

議 会 広 報 広 聴 委 員 会 記 録

令和3年6月11日（金）
13時30分～15時31分
全 員 協 議 会 室

- 【出席者】三浦委員長、西川副委員長、
村武委員、川上委員、小川委員、野藤委員、笹田委員、芦谷委員、
佐々木委員、澁谷委員
- 【事務局】近重係長、小寺書記
-

議題

- 1 はまだ議会だよりVol. 62について…………… 資料1
 - (1) ページレイアウト
 - (2) 掲載記事及び原稿提出締切
 - (3) その他

- 2 はまだ議会だよりminiについて…………… 資料2
 - (1) 第6号掲載内容及び原稿担当
 - (2) その他

- 3 はまだ市民一日議会について…………… 資料3
 - (1) 発言者確定
 - (2) 役割分担、準備物確認
 - (3) その他

- 4 はまだ議会だより読者アンケートに寄せられた意見等について… 資料4
 - (1) 読者アンケート回答作成
 - (2) 読者アンケート意見振り分け
 - (3) その他

- 5 その他

【次回委員会開催予定日】 令和3年7月7日（水） 10：00～ 全員協議会室

【議事の経過】

[13時 30分 開議]

三浦委員長 | ただいまから議会広報広聴委員会を始める。出席委員は10名で定足数に達している。
本日用意した議題はその他を含めて5点である。順次進める。

1. はまだ議会だよりVol. 62について

(1) ページレイアウト

三浦委員長 | 説明を書記からお願いします。
小寺書記 | (以下、資料をもとに説明)
三浦委員長 | レイアウト案についてご意見などがあればお願いします。
川上委員 | 今回、はまだ市民一日議会が2ページ。たくさんの方が参加されるので、できれば全員の顔と意見が出る形にしたほうがよい。ページを広げて。
三浦委員長 | ページ拡大するとなると。
川上委員 | 委員会活動レポートは小さくしても構わない。
三浦委員長 | 川上委員のご意見に対して皆はどう思われるか。
野藤委員 | どこを減らすかだが、厳しいのでは。何ページ割けるか。全部は難しいのでは。
三浦委員長 | せっかく参加される方がおられるので、こういう要旨だったと、短くはなるが全員分載せるという方法がまず一つある。それだけだと発言内容がわからないためもう少しボリュームを上げようということであれば、ほかの項目を減らさねばならない。
もちろん全部は書ききれないと思うので、ホームページなどで補完はするにしても、1ページに全員載せようとするとも振り返ってどうだったかを書き込むところが少なくなるので、何かを減らす方向かとは思う。
読者アンケートの特集として、アンケートに対する回答の掲載ページも取っているので、市民対談を休んで一日議会の特集をする方法もあるかと思う。
ほかに意見はあるか。全部はこの議会だよりで伝えることはできないので、優先的に議会として伝えるべき内容ということなら、川上委員がおっしゃったようにはまだ市民一日議会は全議員で取り組

- 笹田委員 　　むことなので、情報発信する意義は一番あると思う。皆はどうか。
- 笹田委員 　　初の試みだし、結構応募があったので、一気に市民にお伝えするチャンスだと思う。知恵を絞って。市民対談を1回休んででもやる意義があると思う。
- 三浦委員長 　　ほかには。
- 西川副委員長 　　せっかくたくさん応募をいただいたよい取り組みなので紹介したい。市民対談も3回やって定着しつつあるので、休むのが惜しい気もする。13ページの委員会レポートを下半分にして、1ページ半を割いたらどうか。
- 三浦委員長 　　ほかには。
- 村武委員 　　読者アンケートでいただいた市民からの意見を今回各委員会に振り分けて回答した。その際に委員会から、このアンケートがこういう内容でよいかどうかという意見もあったと思う。よいかどうかわからないが、今回読者アンケートを休むのはどうか。
- 三浦委員長 　　ほかには。ないようであれば今いただいた提案と、あとは原案どおり1ページにおさめるか、決めていきたい。
- 笹田委員 　　はまだ市民一日議会は何名発言するかによってページ数も増やしていかないといけない。そのことも考えながら対応すべき。
- 佐々木委員 　　はまだ市民一日議会は上限10名ということだったので、1段2名の上下4名ずつとすると8名、あと二人分を市民対談のスペースに持っていけば、市民対談も十分スペースが取れる。
- 野藤委員 　　はまだ市民一日議会の申し込みはオーバーしている。選考はされてないのか。
- 小寺書記 　　それについては議題3で話をさせていただこうと思っていたが、ページの関係もあるので、先にするか。
- 川上委員 　　人数の話が出たので先に話したほうがよいと思う。
- 三浦委員長 　　では議題の順番を変更して議題3から先にやり、それに伴って議会だよりの紙面構成を議論することにしてよいか。
- （ 「はい」という声あり ）
- では議題の順番を変更させていただく。

3 はまだ市民一日議会について

(1) 発言者確定

- 三浦委員長 　　応募状況について小寺書記から説明をお願いします。

小寺書記
三浦委員長

(以下、資料をもとに説明)

大変うれしいことに18名から申し込みをいただいている。これを受けて正副委員長で対応を協議し、できれば我々の思いとしてはせっかく市民の方々が関心を持っていただいているこの状況、できるだけお話を酌み取りたいため、抽選は行わず全員に。時間延長にはなるが工夫しながら伺いたいと確認した。

この意向は議長にもお伝えはしているが、今日のこの委員会で対応について協議し、決定していきたい。我々の思いを酌み取っていただきながら、各委員の意見を伺いたい。

小川委員

各委員も市民にご案内し、市民に応募いただくよう要請もされたのだろう。私も何人かさせてもらったが、あくまでも10人でそれを超えたら抽選になるので、必ずできるとは限らないと話している。

しかし学生であれば卒業を控えるなどで、これが最後の機会になるかもしれない。検討された方向で何とか18名全員の発言が保証できるとよい。

野藤委員
三浦委員長
野藤委員

2番の方は取り下げられたと聞いたが。

取り下げはされていない。受け付け状況はこのとおりである。

いろいろな方がおられる。全員に意見を言うていただくことはよいと思う。

村武委員

私も全員に発表していただくのはよいと思うが、もし全員に出ていただくとなると、どれくらいの延長時間を予定されているか。

小寺書記

試算したところ17時30分くらいにはなると考える。

村武委員

予定としては16時までとなっていたので、それ以降に予定がある方もいるかもしれない。調整がうまくつくのであればよい。

西川副委員長

おっしゃるとおり16時までにご案内しているので、皆にやっていただくとなれば、16時以降でも可能な方、できない方を伺って、用事のある方は帰っていただく形で調整したい。

先ほどの事務局の試算では、発言者の入れかえに1分のインターバルを持っている。当初は発言者自身に消毒などをしてもらう予定だったが、できるだけ円滑に進めるようそこは事務局なり議員なりでやって、1分間に交代するようなタイムスケジュールで17時30分となっていることを補足しておく。

笹田委員

せっくなので聴くほうがよい。開始時間を前倒しできるかも考えてみたらどうか。あと気になったのは18番の題材が名誉棄損にな

る恐れがあるので、議会としてきちんと把握しておかないと問題があるかと思う。

三浦委員長 提出されたテーマについてご指摘の部分があるかと思う。それについては後ほど協議させていただきたい。

佐々木委員 これだけ多くの方に手を挙げていただいたのはありがたいことだと思う。意見を述べる時間の確保もそうだが、それを受けた後の答えを出す作業をやらねばならない。その負担を心配している。今回で終わりではないので、当初の予定どおり10名抽選という考え方も、答えを出す時間配分も考えると、考えないといけないのでは。聴くだけなら十分だが。

川上委員 せっかくなのでたくさんのご意見を伺うのは非常に大切である。最大限努力してやっていただきたい。

澁谷委員 できるだけ多くの方でよい。笹田委員から指摘があった18番についてはタイトルからして不適切。やったはよいが二度と開催できなくなるのはまずい。

芦谷委員 18人でよいと思う。議会の場にそぐわない展開、発言が出るかもしれない。想定しておかなければならない。

三浦委員長 複数の委員からの指摘があったように、はまだ市民一日議会の開催にあたり個人のプライバシーに関することや中傷的な発言は避けてほしいという注意事項は事前にホームページにも掲載させていただいている。テーマを拝見するとタイトルにも事業者名が入っているものもあるので、そうしたものは趣旨にはそぐわないと思う。それについては協議させていただくが、皆の意向を確認し、全ての方の意見を聴こうではないかという意見も多かったように思う。佐々木委員のご指摘も確かにあるが、できるだけ市民の声に向き合って対応したい思いがあるので、ぜひ全員聴けるよう当委員会の総意をもって進めていきたいがよろしいか。

(「はい」という声あり)

では後ほど、レイアウトにもかかわってくるが全員採用させていただく形で進めたい。

次に発言者の確定について。小寺書記。

小寺書記 多数の場合抽選を想定していたが、申し込み者全員にご発言いただく方針で進めていきたい。

三浦委員長 ご指摘のある18番目の方の発言について、これの参加を可とする

笹田委員
三浦委員長

か、ご遠慮いただく内容のためと決するかを協議したい。
固有名詞が出ているので休憩にさせていただきたい。
暫時休憩とする。

[13時 57分 休憩]

[14時 09分 再開]

三浦委員長

委員会を再開する。休憩前に引き続き発言者の確定について。18人のテーマと要旨を確認し、18番の方については発言内容に個人名が出ていて、はまだ市民一日議会の趣旨に少しそぐわない点が見受けられるので、18番の方はお断りし、全17名に発言をお願いしていきたい。よろしいか。

(「はい」という声あり)

ではそのように決した。では次に移る。

(2) 役割分担、準備物確認

三浦委員長
小寺書記
三浦委員長

(2)について。小寺書記から願います。

(以下、資料をもとに役割分担等を説明)

流れについてはよろしいか。

(「はい」という声あり)

休憩時間についてもおおむね真ん中で適宜取るということで、事務局とこちらとでタイムスケジュールを考えて入れたい。ご了解をよろしく願います。

では次願います。

小寺書記
三浦委員長

(以下、資料をもとに事前送付物を説明)

発言順についてだが、時間が延長されるとのことで当初の予定時刻16時を過ぎて発言いただく方が出てくるので、全員にご都合を伺い、事務局で調整する形で発言順を決めさせてほしい旨を、応募された方々にご案内する形でよろしいか。

澁谷委員
三浦委員長

発言が終わった方は随時帰ってよいのか。

基本的には冒頭から来ていただき最後までいていただくのが望ましい形だが、どうしても16時以降にご都合がつかない方は終わった段階で退席も可とご案内するしかないかと思う。よろしいか。

(「はい」という声あり)

- 近重係長
三浦委員長
そのような形でご案内したい。何かあるか。
説明だけ受けて、私は16時半だから16時に来るといのは。
基本的には、いていただく。16時までの時間は確保された上で応募されていると思うので、冒頭からいていただき、16時以降も基本的にはいていただき、どうしても都合がつかないならその時間に間に合うように着席いただくことになるかと。
- 近重係長
三浦委員長
休憩中が望ましいが、出入りがそうでない可能性もある。
想定はされるが、当初より大幅に時間延長することになるので、そうした対応が必要になるかと思う。
- 澁谷委員
三浦委員長
質疑が5分あるが、疑問点を確認するだけでスムーズに進行したら予定時間内で終わるかもしれない。本格的に議員との方が議論してもあれなので、スムーズに配慮すればよい。
ご指摘のとおりである。予定はしているが質疑が早まる場合がある。
- 笹田委員
三浦委員長
澁谷委員が言われる点を一番心配している。議員が執行部に対するような質疑にならないようにしなければいけない。聴くというスタンスがどうなっているのだとならないように。
それはそうだが、発言された内容に対して何もコメントがないのは一方通行かと思うので、発言に対する感想を、例えば議会広報広聴委員会から必ず誰か1人は述べるようにするとか。あとは質疑が執行部と議員とのやりとりのようにはならないように、あくまで広聴するスタンスでということはアナウンスする。
- 野藤委員
小寺書記
三浦委員長
小寺書記
質疑の時間によって繰り上げていくので、その時間に遅れてくるようなことがあっては運営に差し支えるため、十分注意して行動していただくようお願いしながら、時間調整をしていただく。
あとは注意事項一覧について先ほど小寺書記から説明のあった内容について質問はあるか。
発言内容について、あらましかでも事前の説明はあるのか。
申し込みの原本についてはどこかのタイミングで全議員が見られるよう準備したい。
ほかには。
注意事項でもう少し皆に確認いただきたい点がある。傍聴席でござらんいただける定員は23名で用意しているが、応援者がたくさん来られることも想定はされる。その対応をどうするか。発言時間もあ

- と思うので、そのタイミングだけ来られて帰る方ももちろんおられるだろうが、23人以上来たときにどうするか。
- 三浦委員長 考えている案として、ロビーのテレビでもごらんいただけることをご案内することが一つ。立ち見でもよいから多くの方に見てもらおうという方法もあるかと思う。皆の意見をいただきたい。
- 三浦委員長 定員23名は一応書いて、ロビーでのモニターによる傍聴も可能となっていると書いておけばよいのでは。
- 澁谷委員 2階が23人しか入れないのか。
- 小寺書記 本来はそれより多いのだがコロナの関係で人数を制限している。
- 近重係長 先に入ったもの勝ちになるのはどうなのかと思い。発言者の関係者を優先すべきか。
- 野藤委員 入れかえは難しいと思う。制限した人数内でおさまるだろうと思う。よほど応援団が来ない限りは大丈夫だろう。多いときには入れる人数までで切るしかない。
- 三浦委員長 応援団が来られるようなら傍聴席で見ていただくのが一番だと思うので、そこは譲り合いをしていただくとか。仮にずっと見ていたい方が大半を占めた場合にも、その方のときだけでも譲っていただくとか。
- 野藤委員 そこまで人が関心を持っておられるなら、それはそれでよいが、ある程度譲り合いもあると思うので、定員だけはきちんと守って。入らねばモニターを見ていただくようご案内するしかない。
- 三浦委員長 コロナ対策でもあるので定員を変えるのは難しい。定員は定員できちんにご案内して、仮に人数が増えた場合には、応援団はそのときだけ譲り合っていただけないかをご案内して対応するしかないかと思う。
- 西川副委員長 記者席に記者は来られるのか。
- 小寺書記 一応来週に報道投げ込みはしようと思っている。興味を示された記者は来られると思う。ケーブルテレビについては収録していただくという話もいただいたので、機材も入る。
- 西川副委員長 後ろの議員の席が幾らかあいているがだめか。
- 川上委員 先ほどの役割分担の中に傍聴席、控室の案内役が4名いた。この4名で必要に応じて若干でも案内させていただくという方向で調整させていただきたい。
- 近重係長 その4名も議場では着席してしまうが。

小寺書記 今上がった4名は開会前まで対応していただき、開会したら皆議席におられる。もし応援の方が来られたら、下間次長に対応をお願いしたい。ただ、それも人数があまり増えてしまうと困るが、もう少し人がいたほうがよいかもしれない。

村武委員 はまだ市民一日議会の注意事項一覧の定員の後に、傍聴者は発言者の知り合いだと思うので、この部分に入れかえなどご協力をお願いする、といった一文を入れてみたらいかがか。

小寺書記 「定員23人です」のところはどういった言葉を入れて、参加者や傍聴者にご説明するのだが、定員は23人だがモニターでござんただけ、というアナウンスをするのはありかと思う。村武委員から提案のあった、関係者の方だけ入れかえすることを追記してもよいかと思った。

三浦委員長 では「定員は23人です。ロビーのモニターでの傍聴も可能です。席数は限られておりますので、場合によっては席の入れかえにご協力をいただく場合がございます。あらかじめご了承ください」ということで、適宜対応にご協力いただくといことで。

笹田委員 発言者席と議員席が分かれている。17名となると最初に想定していた席順が変わってくる。事務局の対応にもお願いせねばいけない。前半部分と後半部分で入れかえないと密になる可能性が出てくる。それがもし可能なら、傍聴者も前半後半に分けられるのでは。

三浦委員長 席の割り振りについて意見が出たが、次の項目の内容なのであわせて。

小寺書記 (以下、資料をもとに議場配置図を説明)

野藤委員 席と席の間にアクリル板を立てたらどうか。

小寺書記 アクリル板は枚数については対応可能。

笹田委員 議員は議会でなれているが、高校生などが何時間も座るのは難しいのでは。人の意見を聴くためにずっと座っておかないといけないのは苦痛なので。発言をしたいだけの方が来るので拘束時間も考えてあげたほうがよいのでは。

小寺書記 前後半の2部制というイメージだと思うのだが、参加者へのアナウンスも微妙に変わってくる。間の休憩も長めに取る必要も出てくる印象である。いかがだろうか。

三浦委員長 前半後半に分けた場合注意事項の説明など2回対応しなければならない。スムーズな進行を考えると間に説明時間を入れると、また20

野藤委員

分30分押してしまう恐れもある。できたら説明は1回にしたいのだが。

大丈夫では。高校生なども授業中じっとしている。発言したら歩き回るわけではない。途中休憩もある。ここへ来て発言しようという意識のある高校生や中学生なら、心配しなくてもよいのでは。

三浦委員長

集合していただくのは予定どおりにしていただき、前半で発言される方が最初に着席し、休憩で入れかえて。前半で終わった方は傍聴席で傍聴してもよいし、そのまま帰宅されてもよいという形でやれば、説明も1回で終わるし密も避けて運営できると思うがどうだろうか。

澁谷委員

説明を2回しても、早目に集まってもらって前半の人たちが終わる前に説明したらよい。

三浦委員長

仮に前半9名が発言されて、その後、説明の時間兼休憩を取ったときに、今の予定だと休憩は7分や10分だが、説明がその時間で終われば議員も説明して自席に戻ることができるのだが。説明時間と前半の発言者の時間が被ると聞けない議員が出てくる。

澁谷委員

ビデオを見ればよい。

村武委員

受け付けが終わり、控室はどこか。

小寺書記

全員協議会室が控室である。

村武委員

そこで事前説明を受けるのか。

小寺書記

事前説明は議場でする想定だった。資料をご覧いただきたい。

(以下、資料をもとに事前説明を説明)

三浦委員長

事前説明内容の説明があった。この人数だと皆に自席に座っていただくのは難しいのだが、パイプ椅子を用意しながら説明のときは対応する。参加者の方に全員執行部席に座っていただくのは難しいとなると。

小寺書記

個人的な意見だが、執行部も議会のときは座っておられるし、しゃべるのは意見や気になる点についてのみなので、やれないことはないと感じる。

三浦委員長

全員が入れかえを想定するなら各自の席に座ることはできないということか。

小寺書記

例えば、入れかわりでは同じ席に座らず、もともとの席に座ってもらう。

三浦委員長

今の説明について意見はあるか。よいかと思うが。

(「任せる」という声あり)

では小寺書記から今提案があったような形で、事前説明をさせていただきます。

小寺書記

まとめると、最初に皆にお集まりいただくのは1時半であったり、また時間は前後するかもしれないが、1時半に来ていただいて、皆がそろったら席札を用意しようと考えているので、各席に座っていただいて事前説明を西川副委員長と小川委員とでやっていただく。

前半の方は10名座っていただく。残りの方はおおよそ早めの時間には全員協議会室にいてもらう。後半部分は各々の席にまた着席いただいて。前半の方は傍聴いただいても構わないし、帰宅されても構わないということでしょうか。

佐々木委員

もともと最大10名で、17名になり最初から最後までとなると膨大な時間がかかるということを参加者がどれだけわかっておられるか心配である。事前に順番を決められるときに打診をされるのだろうが、基本申し込みの順番くらいを目安にして後半・後半をあらかじめ決めておいて、大まかな入れかえで時間を決めてあげないと。順番を基準にした前半後半の配慮をされたほうがよい。

三浦委員長

ほかには。

芦谷委員

集合写真を撮ったらよい。

三浦委員長

写真は最初に全員が集まったときに撮るようにして、あとは佐々木委員のご指摘も踏まえて、小寺書記から説明があったように取りまとめて進めていきたい。よろしく願います。

小寺書記

(以下、資料をもとにアンケートを説明)

三浦委員長

発言者アンケートと後日アンケートがあるのは、終わった当日に書いていたことと、後で振りかえってどうかということを伺いたいため用意した。内容などについて意見を伺いたい。

(「なし」という声あり)

ではこのような形で進めたい。

小寺書記

次に当日の次第書をご確認いただきたい。

(以下、資料をもとに次第書を説明)

三浦委員長

次第にのっとなって進めるということでご確認いただきたい。よろしく願います。

(「はい」という声あり)

(3) その他

三浦委員長 小寺書記	はまだ市民一日議会についてその他何かあるか。 先ほど笹田委員からもご提案があったが、14時開会としていたものを13時半にしてみるというのもありだと思っているのだが、いかがだろうか。
西川副委員長	最初は全員集まっていたいで写真を撮りたい。2時の予定を1時半に繰り上げたら来られない人がいたらいけないので確認を取って、よければ1時半のほうが、終わりが早くなってよいと思う。
三浦委員長	発言者の方々のご都合に合わせて、確認取って、繰り上げられるようなら30分繰り上げて13時半。集合を13時にさせていただいて13時半スタートの形で。発言者の方にまずお伺いして調整するというところでよろしいか。 <p style="text-align: center;">（ 「はい」という声あり ）</p> ではそのようにさせていただく。 ほかには。よろしいか。 <p style="text-align: center;">（ 「はい」という声あり ）</p> では議題を戻す。

1. はまだ議会だよりVol. 62について

(1) ページレイアウト

三浦委員長	先ほど途中で終わっていたページレイアウトについて。先ほどの協議によって発言者は17人となったので、それを踏まえて改めて紙面のレイアウトについてご意見を頂戴したい。
笹田委員	17人となるとページが厳しい。どこを省くかは正副委員長で考えていただければそれに従う。
三浦委員長	そのような意見が出たがいかがだろうか。 <p style="text-align: center;">（ 「任せる」という声あり ）</p> では全体を見ながらレイアウトを正副委員長で相談させていただき、割り振りしていきたい。よろしく願います。

(2) 掲載記事及び原稿提出締切

三浦委員長	小寺書記から説明をお願いします。
小寺書記	<p style="text-align: center;">（ 以下、資料をもとに説明 ）</p>
三浦委員長	今回も挙手制で、我こそはここを担当するという立候補を募りたい。委員会活動レポートにも当委員会担当分があるので、ここの地

域協議会のレポートについてもお願いします。

野藤委員 委員会活動レポートは中山間地域振興特別委員会をやる。
三浦委員長 では野藤委員にお願いします。
でははまだ市民一日議会のページは初の試みということもあるので私が担当する。

澁谷委員 ほかのページも委員長が指名して。
三浦委員長 では指名していく。小川委員にトピックスをお願いします。二つ目のトピックスは村武委員にお願いします。

村武委員 何にするかも決めるのか。
三浦委員長 はい。議会の様子を見ながらあったことなど。
村武委員 はい。
三浦委員長 市民対談は前回川上委員にお願いしたので、今回は芦谷委員。カメラマンは私が一緒に行くので。
委員会活動レポートの当委員会分は澁谷委員にお願いできるか。

澁谷委員 何についてか。
三浦委員長 地域協議会との意見交換会について。
澁谷委員 自分の行ったところしかわからないが。
三浦委員長 それでもよいが、ほかのところの様子も聞いてみながら。
総務文教委員会について、西川副委員長にお願いします。あとは川上委員と佐々木委員が残っているので、川上委員は一日議会について私と一緒にやってもらいたい。佐々木委員は市民対談を、芦谷委員と一緒に協議していただいて。

佐々木委員 誰をやるかは。
三浦委員長 これから判断するので、それで決めたい。皆のご協力に感謝する。
では市民対談の候補についてこちらから提案をさせていただき、皆で協議したい。小寺書記から提案の説明をお願いします。

小寺書記 前回に引き続いての部分もあるのだが、西川副委員長からご提案いただいた商業高校の方と、石見神楽関係者がこども神楽の指導者や神楽に携わって文化継承などをされている方というイメージでどなたかよい方がおられれば。まちづくりコーディネーターについては複数名おられるが、どなたかピックアップすることになるかと思う。地域おこし協力隊のときは4名でぎりぎりだったので、これ以上の人数だと厳しいと思っている。
その後の植田さんについては西川副委員長から。

- 西川副委員長 植田由香理さんはご存じの議員もおられるが、今共生型福祉施設ということで、障がい児、障がい者、高齢者のデイサービス施設を浜田で初めて立ち上げて、NPOで運営されている女性である。看護師やいろいろな体験をされて、熱い思いで、生きづらさを抱えている方がやさしいまちで生きていけるよう活動しておられる方である。この中でも、障がい児の移動手段について実際困っている方がおられて、その障がい児の集まりに我々も参加して話を聞いたところである。
- 三浦委員長 今ピックアップした方々の中でも、それ以外でも、どなたか候補があれば上げていただきたい。
- 芦谷委員 はまだ市民一日議会で発言される17名全員は紙面に収まらないかもしれない。その中の高校生だけをピックアップして市民対談に回ってもらうこともよいかと思った。
- 野藤委員 その件でページ数を決めるかと思ったのだが。市民対談を1ページにすれば一日議会が2ページ分取れるので、そうされるのかと思ったのだが。いかがか。
- 三浦委員長 先ほどページの割り振りについては正副にご一任いただいた。ページのレイアウト案の中で市民対談のところを削ってはまた市民一日議会の特集をしてはという意見を私から出させていただいたのだが、正副委員長で相談させていただいて、市民対談を掲載する場合には芦谷委員、佐々木委員とこの候補の中から選ばせてもらって取材を進める。あるいははまだ市民一日議会のページにも割くということであれば今回はお休みとなるので、それはそれで進めさせていただくという形にさせていただきたいがどうだろうか。
- 佐々木委員 それでよいが、市民対談の相手の方、今何人か候補が上がった。個人的には植田さん、NPOの共生施設を島根県で初めて立ち上げて非常に頑張っておられて。この施設、市民に知っていただくという意味合いも非常に強いと思うので、個人的には植田さんをぜひ扱いたい。スペースがあればぜひやらせていただきたい。
- 三浦委員長 ご意見があったのでそのご意向も踏まえて全体のレイアウト調整を図りたい。また相談させてほしい。
- 小川委員 先ほど芦谷委員が言われた、高校生の分は今回3名出ている。背景がこの間、浜田市の課題について高校2年生で、この5年間担当してこられた先生が今年の4月に変わられた。やってきたが今回たまたま

こういうことに結びついた。毎年2年生のテーマとして、浜田市の課題についていつも議論され、場合によっては政策甲子園に出されている。中でもそこと広報広聴の接点があってもよいという議論があった。今までの伏線がある中、今回こういった取り組みをしたところに来られたという経過もあるので、実際に3人も出られるとなるとそこも一つのテーマかと、芦谷委員の意見を聞きながら思った。

三浦委員長 小川委員、芦谷委員のご意見も踏まえてページのレイアウトと市民対談の候補者の件、検討を進めたい。

小寺書記 スケジュールをご確認いただきたい。

(以下、資料をもとに説明)

三浦委員長 日程の確認をする。7月7日の委員会だが、13時からいかがだろうか。午前中に広域行政組合の臨時会議が入るとのことなので。よろしいか。

(「はい」という声あり)

では次回の委員会は7月7日の水曜日13時から。

小寺書記 13時半でお願いする。

三浦委員長 はい、13時半から。

村武委員 13時半から大体何時くらいに終わるか。

小寺書記 議題の予定としてははまだ市民一日議会の最終確認事項などと、8月1日に議会だよりminiを発行予定なので、その内容について。スムーズにいけば1時間かからないかと思う。

村武委員 17時半から予定が入っていて、遠方ではないので17時までには終わるなら。

三浦委員長 では13時半開始で。

その次は28日水曜日の9時からでいかがか。

(「はい」という声あり)

では28日の9時から編集作業をよろしく願います。

2 はまだ議会だよりminiについて

(1) 第6号掲載内容及び原稿担当

三浦委員長 説明をお願いします。

小寺書記 (以下、資料をもとに説明)

三浦委員長 案を紹介させていただいた。福祉環境委員会の吉賀町視察と議員定数等議会改革推進特別委員会の現在の審議状況の報告、この2点を

候補としているがどうだろうか。異論がなければ各委員に書いていた
ただきたいが。今回は澁谷委員に水道の件を書いていただいたので。
村武委員どうか。

村武委員
三浦委員長

了解した。
では福祉環境委員会副委員長、お願いする。
議会改革はどうか。小川委員か佐々木委員か笹田委員に書いてい
ただけるか。

佐々木委員
三浦委員長

議論の途中ばかりで何を書けばよいのか。
それで構わない。今朝、議会運営委員会でも議会改革から報告が
あったので、何かああいう部分について硬い内容かもしれないが書
いていただけると。

佐々木委員
三浦委員長
小寺書記

いろいろあるがなかなか議論が進まない。
ではほかの委員会はどうか。
例えばだが、本紙の兼ね合いもあるが仮に委員会活動レポートが
減になったらそれをこちらに回すのも手かと思ったが。

澁谷委員
三浦委員長

委員長が指名したら。
そうさせていただく。指名するので快く受けていただくようお願い
します。

佐々木委員

はまだ市民一日議会、皆やはり注目しているし、議会だよりでも
やり、ここでもやり、くらいのボリュームがあってもよいと思う。

三浦委員長

そうしたら佐々木委員に書いていただきたい。

佐々木委員

これいつ発行だったか。

三浦委員長

7月1日。

佐々木委員

メンバーとテーマを書けばおさまるのでは。

三浦委員長

でははまだ市民一日議会の告知ということで。

佐々木委員

ええ、そういう位置づけで。

三浦委員長

議員のつぶやきはどうでしょうか。そうするとスペースがなくなる
か。紙面の構成を見てまた川上委員にお願いする。

(2) その他

三浦委員長

その他あるか。

小寺書記

議長日誌は。

三浦委員長

議長団に伺って。

澁谷委員

議長団に言えばかたくなる。

三浦委員長 | 少し相談する。miniについては以上とする。

4 はまだ議会だより読者アンケートに寄せられた意見等について

(1) 読者アンケート回答作成

三浦委員長 | 小寺書記から説明をお願いします。

小寺書記 | (以下、資料をもとに説明)

三浦委員長 | 委員会でも対応経過及び結果について案を作成していた。お目通しいただいているかと思うが、ご意見があればお願いします。よろしいか。

野藤委員 | ご意見は地域をそえるのか、ただ意見だけ載せるのか。

小寺書記 | ご意見をいただいた方の属性を載せるかどうかだと思うが、西川副委員長を中心にどういった形で回答を掲載するかだと思うので、いただいたご意見を参考にしながら対応したい。

三浦委員長 | 全体としての意見として伺って、現在の取り組みについては回答できているかと思う。一応野藤委員からの意見は今後の掲載方法についてとして検討したい。

笹田委員 | これはこれでよいが、今回初めての試みで各委員会に振って、また各会派もいろいろ意見を出してくれて集約されていると思うが、うちの会派で話があったのが例えば、23人毎回一般質問やっていてすばらしいみたいな案件に一々答えないといけないのかという声も出た。答えるべき案件を整理したほうがよいのではという意見が出たので、ここで言わせていただく。

三浦委員長 | ご指摘の部分もあるかと思う。あと基本的には紙面を活用して、紙面でいただいたご意見なのでそれにお戻しするというスタンスは思いつつも、全意見・ご要望に紙面で回答するのは物理的に難しい部分もあるので、ホームページなどでお返ししていく。励ましなど寄せられたお声に対しても、回答すべき部分があればできるだけ回答するし、寄せられた意見ということでお受けしておくことでもよいものがあると思う。ご指摘いただいた部分を含めて今後割り振るときにこちらでも検討したい。

笹田委員 | 今回の議会運営委員会でもやったのだが、別に議会運営委員会に振らなくてもここでできることもあった。そういう部分を割り切ってここでやってしまっただけで、本当に委員会に振らないといけないものを委員会に振る形にしないと、今後数が増えたときにまた同じよう

なことになる可能性もある。この委員会が汗をかくことになるが、割り振りをしっかりしたほうがよい。

三浦委員長

ご意見を伺い今後の対応の参考にさせていただきたい。

では読者アンケートの回答については、このような案で回答したい。

(2) 読者アンケート意見振り分け

三浦委員長

小寺書記からお願いする。

小寺書記

(以下、資料をもとに説明)

三浦委員長

4件配信されているとおりでである。先ほど笹田委員からも意見があった点も踏まえて、この所管委員会の割り振りについて皆の意見を伺いたい。

小寺書記

2番目なのだが、今議会運営委員会としているのは議員の発言みたいなところで、議員周知にしていたところではあるが、人口減少のことに寄っている意見という感じもあるので、総務文教委員会にするかなどご確認いただければ。

澁谷委員

総務文教がよいのでは。

三浦委員長

では2番目は総務文教委員会ということで、上から福祉、総務、産業、広報広聴に割り振るということでよろしいか。

(「はい」という声あり)

ではこのように各所管委員会に申し送りたい。

(3) その他

三浦委員長

小寺書記。

小寺書記

読者アンケートの振り分けの流れについて確認したい。今日の委員会で振り分け先が決まった。仕訳けたところで前回と同じように各常任委員会に文書を送る。各委員会で寄せられた意見についてまた議論していただく。これの確認を7月5日の全員協議会でできるように締め切りを設定して、各委員会で対応いただくイメージでいる。よろしくお願いする。

三浦委員長

そのように進めていただけたらと思う。アンケートについては以上となる。

5 その他

三浦委員長

先ほど確認させていただいたが、次回委員会の日程は7月7日水曜日13時半になっている。全員協議会について小寺書記から。

小寺書記

はまだ市民一日議会のことや地域協議会との意見交換会のことを全員協議会にて全議員に共有・協議していくことを今後考えている。まず6月18日の定例会議初日の全員協議会については、今日の委員会の中ではまだ市民一日議会の時間を調整している話や、その後の進め方の確認をしたい。

地域協議会との意見交換会についてだが、今は金城・三隅・浜田が終わったところである。旭・弥栄はこれからなのだが、一旦この三つの地域協議会については全議員に共有して、議会としての対応を協議する場を設けるのか、五つの地域全てやってからがよいのか、もしご意見があればいただきたい。地域協議会との意見交換会については報告書をもとに全議員で協議してもらおうと思っている。6月20日くらいに報告書が出たとして7月5日の最終日の全員協議会でそういう場を設けることができるかどうかの相談という部分である。

また7月5日の全員協議会については、はまだ市民一日議会の前でもあるので、最終アナウンスも考えている。

続いて、はまだ市民一日議会が終わってからの全員協議会をいつするか。前回も少し触れた部分ではあるが、その進め方を皆に確認したい。ただ発言を聞いて出た意見をどうしようかを全員協議会でする前に、いただいた意見に対して各議員がこれについてはどう扱うべきかを考えて全員協議会に臨む形を取るのはいかがでしょうかという提案である。出た意見に対して各議員の考え方や取り扱いについて考え、それをもとに委員会の中で議論することを全員協議会レベルでもやっていくのはどうかということである。7月11日に、はまだ市民一日議会が終わって時間があつたほうがよいのかとも思うので、そのようにするなら7月26日月曜日の週のどこかで全員協議会を調整していくところかと思う。

ただ、7月28日に当委員会もあるため日程も調整しながらである。

以上全員協議会について三つ説明した。ご意見をいただきたい。

三浦委員長

整理する。一つ目は6月18日の全員協議会で、本日協議して変更点が出てきたはまだ市民一日議会の案内をさせていただきたい。はまだ市民一日議会は全議員で取り組むものなので、本日出席の委員におかれては同じ会派の方々にこうした趣旨で変更に至ったというこ

とはご説明いただき、ご理解いただくようお願いする。6月18日にご説明する。

2点目は地域協議会との意見交換会の結果について、どう全員協議会で扱っていくかだが、一つは今まで三つの地域協議会で終わった意見交換会について、一旦全員協議会で取り扱う。もしくは五つの協議会との協議が終わった後にまとめて取り扱うか。

澁谷委員

まとめて。

三浦委員長

どうか。

(「まとめて」という声あり)

そうしたら全地域との意見交換会が終わった段階でご返答していくということに進めたい。お戻しするに当たっては、どのような形で戻すかも併せて協議する必要があるので、これは次回以降の委員会で検討させていただきたい。

三つ目、はまだ市民一日議会開催後の全員協議会の進め方についてだが、これも各委員に事前に対応を検討していただき、全員協議会に臨んでいただくプロセスを取りたいと思うが、そのようなことでよいか。ご意見があれば伺う。

川上委員

対応というのは過去の一日議会の内容を書いて、それに対して答えをつくって対応せよということか。

三浦委員長

はい、全員協議会で諮る前に発言者1番のテーマについては、これは委員会で取り扱うべきだとか、犬山市にならって言えば個人の議員活動の中で対応していきたいとか、そういうことを各議員に検討していただく。

では読者アンケート同様に事前に全議員にアナウンスして、全員協議会で持ち寄っていただき協議していただくという形でお願いしていきたい。

ほかには。ないようなので本日の議会広報広聴委員会はこれで終了する。

[15時 31分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

議会広報広聴委員会委員長 三浦 大紀